

平成 25・26 年度 医療安全教育トレーニングプログラム開発事業
International Forum on Quality & Safety in Healthcare 2013, London
Remote Participation Program ~Improve Quality, Reduce Costs, Save Lives~
国際医療の質・安全学会 2013 第 4 回遠隔地参加プログラム
～質の改善・コストの削減・健康の向上～

平成 26 年 7 月 2 日
大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部

アンケート結果一部抜粋

International Forum on Quality & Safety in Healthcare 2013, London

Remote Participation Program ～Improve Quality, Reduce Costs, Save Lives～

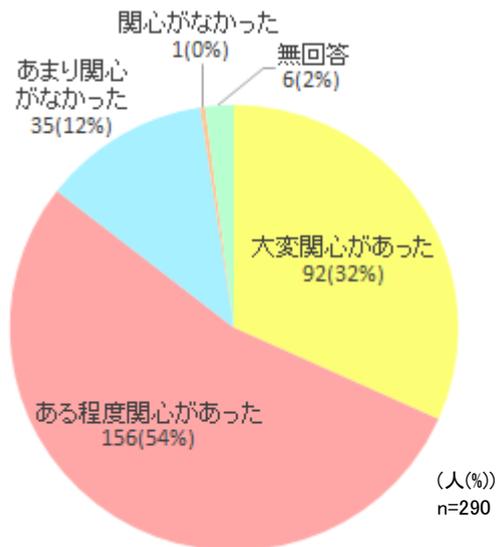
国際医療の質・安全学会 2013 第4回遠隔地参加プログラム

～質の改善・コストの削減・健康の向上～

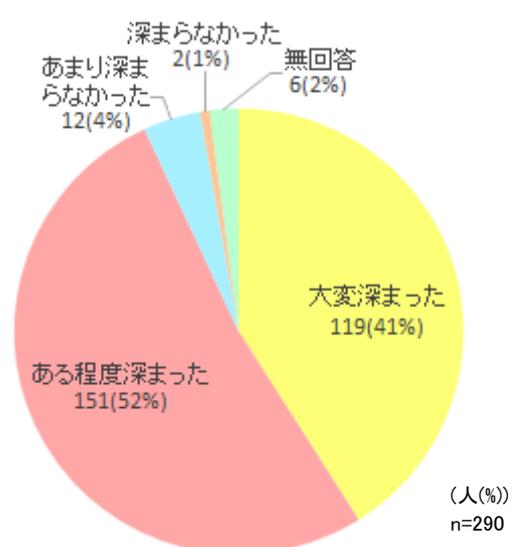
The Mid Staffordshire Inquiries: Lessons for Healthcare

「ミッドスタフォードシャイア NHS の事故調査からの教訓」(ロバート・フランシス先生) について

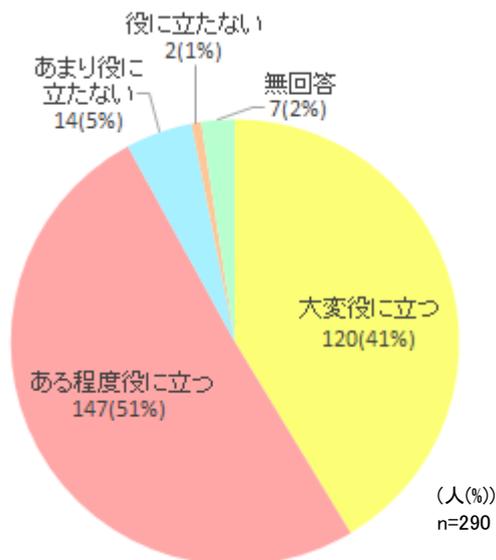
① 関心のあるテーマでしたか



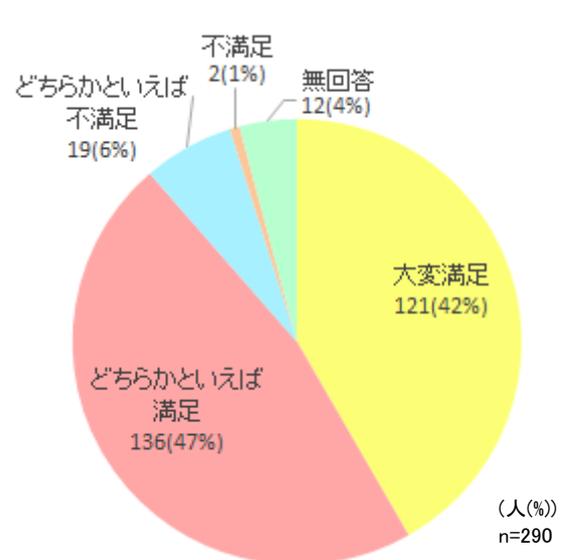
② テーマに関する知識が深まりましたか



③ 今後の診療、教育、業務に役に立つ内容でしたか

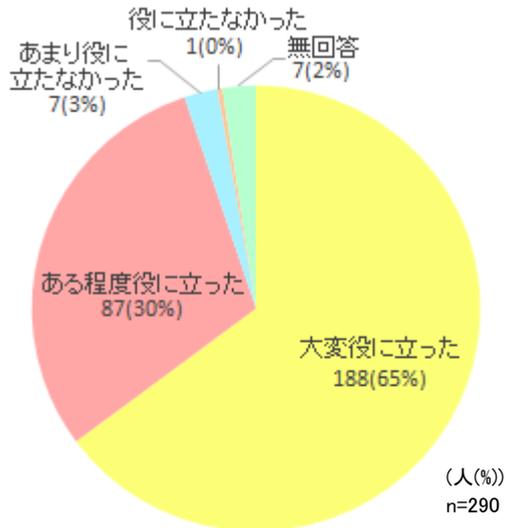


④ セッション全体は満足できるものでしたか

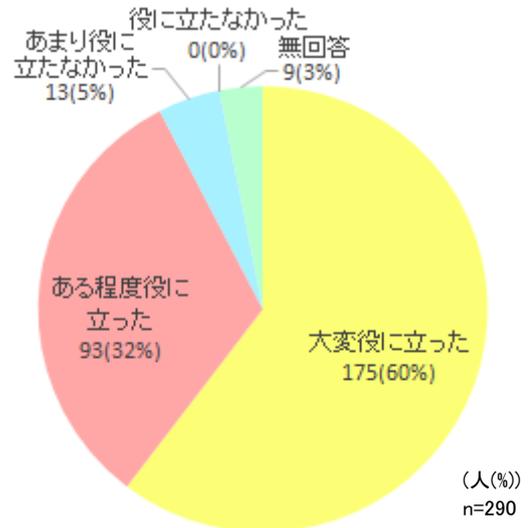


⑤ 講演の内容を理解するために以下の資料は役に立ちましたか

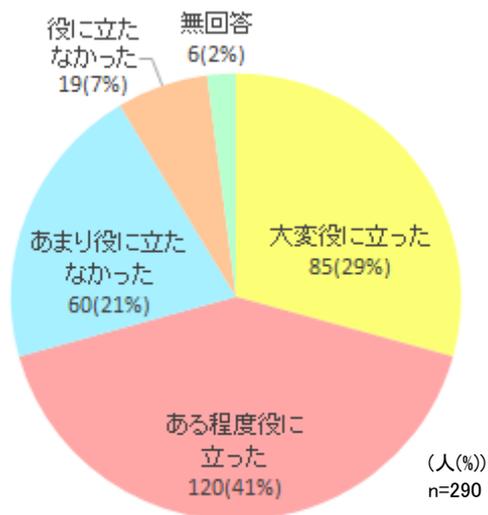
1) 映像の日本語字幕



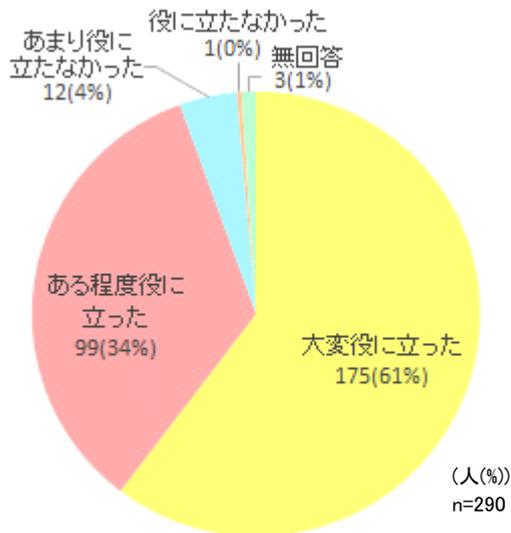
2) 解説冊子(日本語)



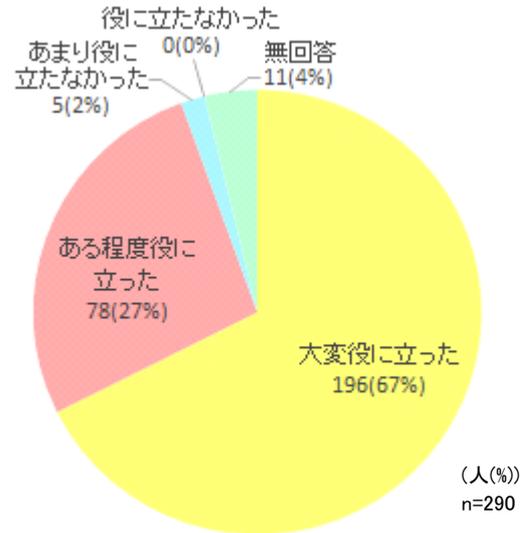
3) スライド冊子(英語)



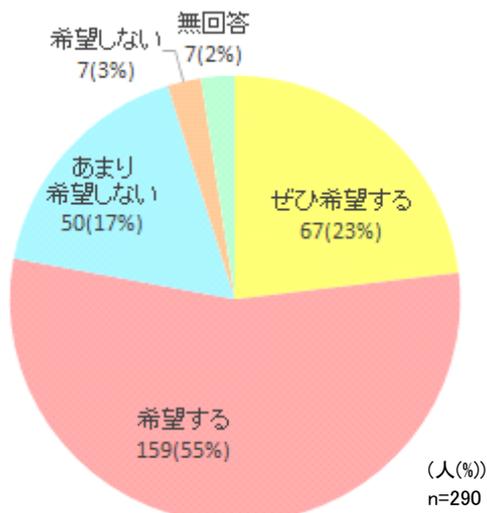
⑥ 座長の小島崇宏先生の解説はフランシス先生の講演の理解に役に立ちましたか



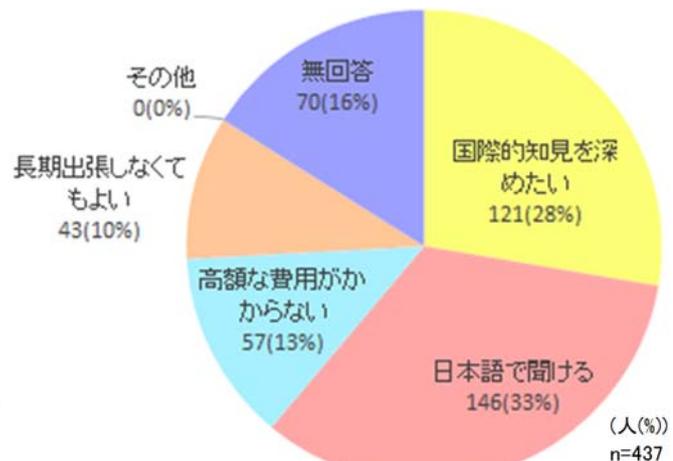
⑦ 特別コメンテーターの児玉安司先生のご講演はフランシス先生の講演の理解に役に立ちましたか



⑧ 今後も今回のような国際学会 (International Forum on Quality & Safety in Healthcare)の遠隔地プログラムがあれば参加を希望されますか



「希望する」場合、その理由をお聞かせください



その他の回答:

- ・安全に関するメッセージはおおよそ海外から発信されているように思います。
- ・「これでよい」ではなく、いろいろな角度からの危機を知るべきと思うので。
- ・病院経営陣が聞いた方がよいと思う。
- ・一般の職員でも聞きに行きやすい。

大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部作成